

事業名称	音楽で楽しく健康のつどい（地域社会のための音楽）
団体名・代表者	comodo 姫 代表 京極 真衣
協働の相手方	文化国際課
目的	広く一般市民（年齢性別障がいの有無を問わない）を対象とした音楽に触れる機会の創出。ただ演奏を聞くのではなく、実際に体験すること（演奏をすること）で、音楽というツールを通しての地域交流、またそれぞれの心の健康・体の健康を育むことを目的とする。
内容	全6回のイベントを実施。 ドラムサークル・音楽体操・即興音楽会を各2回ずつ開催。 理学療法・音楽療法の専門家を講師として迎え、専門的な内容を交えながら、音楽を楽しむ。
事業経過	2021/9/19 ドラムサークル 2021/10/24 音楽体操 2021/11/21 ドラムサークル 2021/12/19 即興音楽会 2022/1/23 音楽体操 2022/2/13 即興音楽会
事業の効果	オンライン、リアル参加合計で64家族183名の方にご参加いただきました。 新型コロナウイルスの影響で、イベント自体が中止となっていることも多く、子どもたちが外に出る機会が大きく減少していることや、家族で楽しみたいという理由から参加申し込みをしたということを参加者の方からよくお聞きしました。（家族単位でのご参加が大半でした）地域交流機会の創出という点においては、達成することが難しかったと感じていますが、心身の健康を音楽で育むという点においては達成できたと思います。
今後の展望	現在、生活が大きく変化し、他人との交流機会が減少、生活の満足度なども低下しています。特に子育て世代においては「家族以外との交流」がないことで、大きなストレスを抱えています。当初は地域の高齢者や障害のある方を想定していましたが、実際には子育て世代の参加希望が大半でした。今後は音楽を使った子どもと大人のための地域コーディネートを行っていきたくと考えています。

【実施団体の事業総括・感想等】

今回は初めて補助金をいただいて事業を実施しました。事業開始当初、予想以上に申し込みが多く、コロナ禍での外出自粛などが、子どもにとっても親にとっても大きな負担になっているのだと感じました。音楽を通じて自己表現を行うことで、ストレス軽減や心と体の健康の一助となっていればと思います。

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

「音楽で心と体の健康を育む」というテーマ通り、理学療法士の参加も得て、高齢者や障がいのある人も参加しやすい態勢が整えられていたものの、コロナ禍でもあり、参加者が限られてしまったのが残念でした。ただ、実地参加と zoom を利用したオンライン参加を組み合わせることで交流の機会が広がり、今後の事業実施がよりニーズを把握した効果的なものになるのではと期待しています。今後も音楽を通じて交流とにぎわいを生み出し、「音楽のまち・ひめじ」の推進にご協力いただければと思います。